

Newsletter

2024 ぐんだいで遊ぼう！「ものづくり体験・おもしろ探検」報告

群馬大学理工学系技術部では技術職員の業務で得た技術と知識を活かし、地域の子供たちに科学への興味と楽しさと身近な大学を知ってもらう事を目的として、今年度も2024 ぐんだいで遊ぼう！「ものづくり体験・おもしろ探検」を2024年7月28日（日）に開催しました。

内容は、【①ホバークラフトをつくろう】【②ジャイロゴマを作ってみよう】【③「液晶」キーホルダー・カードを作ってみよう】の3テーマを設定しました。3テーマのうち2テーマが新規であり、どれも小学生の科学的な好奇心を刺激するテーマ設定としました。

桐生市、みどり市の小学校4～6年生を対象にチラシを配布し、チラシを配布していない県内外の地域も含めて42名の応募がありました。

当日は、参加者は各テーマに分かれて技術職員の指導の下、ものづくりを行い会場である総合研究棟はそれぞれのテーマごとに賑わいを見せました。

参加者と保護者にそれぞれ行ったアンケートではテーマ内容についても大変好評を得ることができました。今後はアンケート結果を参考にし、テーマの変更や内容を検討し、より良いイベントになるように計画して行きたいと考えています。

このイベントを実行するにあたり、共同開催の独立行政法人国立赤城青少年交流の家の皆様におかれましては多岐に渡りサポートしていただき誠にありがとうございました。この場を借りてお礼申し上げます。

(文責：マシンショップ 齋藤)



アイスブレイクの様子

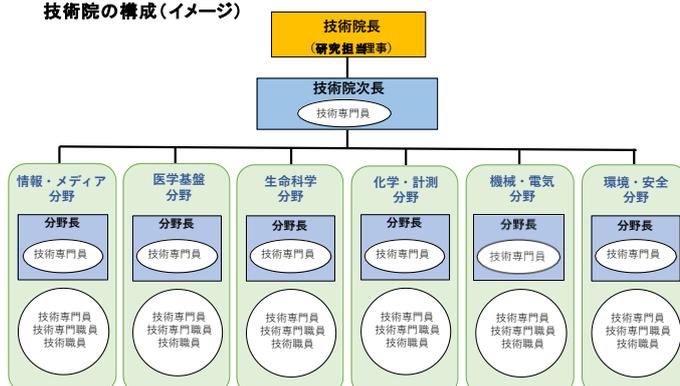


ジャイロゴマを作ってみようの様子

INFORMATION!

2025年4月1日から「群馬大学技術院」が始動します。
技術院は、本学の教育研究活動等の更なる活性化・発展のため、全学の教室系技術職員が教育研究活動の支援、環境整備に関する専門知識・技術の追求、他分野との技術連携等を行うことを目的として設置されます。
引き続きのご支援ご協力を賜りますようお願いいたします。

技術院の構成(イメージ)



マシンショップ（機械工場）の利用（申請）方法が変更になります！

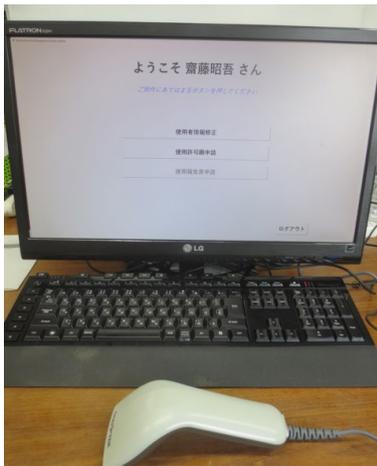
マシンショップでは、2025年2月より工場使用（機械の利用）における使用方法を紙ベースでの申請方式から学生証、職員証のバーコードを利用したパソコンによる申請方式へ変更することとなりました。

今まで紙による申請方法では、集計作業などの手間がかかっておりましたが今回申請方法をリニューアルすることで入力や集計作業の時間を大幅に削減できることとなります。

2月から運営しており、学生さんたちに既に利用してい

ただいておりますが、「いままで、名前や所属などを毎回書いていて面倒だったから非常に楽になった」や「手書きが面倒だったから非常にいいです」など大変好評をいただいております。いろいろなどところでDX化が進む中、マシンショップも利用者に使いやすいよう進化を続けていけたらと思います。

※使用の際には学生証が必要になりますので忘れないように注意してください。（文責：マシンショップ 齋藤）



事前登録画面の様子

マシンショップ使用許可願

以下の情報を入力し、確認ボタンを押してください

◎施設の規則を守り、作業に相応しい服装で作業をします。作業終了後、周辺の清掃と工具等の整理整頓を責任を持って行いますので、施設の使用と下記の工作機械の使用許可をお願いします。

使用日: 2025/3/11 氏名: 齋藤昭吾 利用者区分: 教職員
 種類: 電子・機械類 プログラム名: 機械プログラム 内線番号: 1053
 指導教員名: 天谷 賢児

使用機械	機器番号 または 機器詳細	開始時刻	終了時刻	使用時間	マシンショップ職員による指導		シャーリングのみ	
					時間	職員名	切断回数	材質

入力画面の様子

作業環境測定グループ作業支援システムを開発 —テスト運用実施中—

作業環境測定グループでは年二回の作業環境測定を実施しています。主な作業として、デザイン、サンプリング、分析、報告書作成などを行います。作業環境測定士が行う必要のあるデザイン、サンプリングおよび分析以外のデータ入力、報告書作成といった作業について、作業者の負担軽減を目的としたCGIシステムを開発しています。

作業環境測定グループ作業支援システムはレスポンス対応のCGIシステムです。学内LANに接続したパソコンやタブレット、スマホから利用が可能で、サンプリングの測定・分析データの入力から報告書の作成までをブラウザ上から行うことができます。作業者にはサンプリングおよび分析作業に集中していただけるよう、なるべく簡単に、かつ直感的に操作できることを設計方針としています。作業者により入力された測定・分析データはデータベースに保存します。保存したデータは、将来的に安全衛生関連の活動での活用を検討しています。

総合情報メディアセンターの仮想マシン貸出サービス (<https://www.media.gunma-u.ac.jp/ITservices/VMrental.html>) を利

用、OSは無償のLinux (Ubuntu) を利用しているため、予算ゼロ円でシステム構築を実現しているのも大きな特徴です。また、仮想マシン貸出サービスの利用によりクラウド上にサーバを持つため、毎年9月に実施される桐生キャンパス構内全域停電の煩雑な対応の必要がありません。

現在、プロトタイプの上立ち上げを行い、テスト運用を実施中です。テスト運用の結果から最終的な仕様のすり合わせを行い、機能の追加などを行った後、正式リリースを予定しています。

本開発は業務のDX化の一翼を担うと考えています。

詳細については情報電気部門・酒井までご連絡ください。

（文責：情報電気部門 酒井）

システムの操作画面